

案内

光円寺 選択本願念仏集

十一月二十四日(木) 午後七時三十分～ 講師 玉光真人さん

光円寺 定例 同朋会 親鸞さんの書かれた手紙。唯信鈔文意

十一月二十八日(月) 午後二時～四時

光円寺 山の家 新月満月の会

新月…十一月二十五日(金) 一れ以降冬季でお休み

光円寺 報恩講の準備 おみがきお華束

十一月二十七日(日) 午前八時半～十一時

光円寺 報恩講の準備 花たて

十二月二日(金) 午前八時半～

光円寺 本堂境内の清掃奉仕

十二月二日(土) 午後一時～二時

光円寺 報恩講

十二月三日(土) 午後七時半～十一時半頃

十二月四日(日) 午前八時半～午後四時

編集後記

先日、1泊2日で山口県の上関にある「祝島」へ近くの大谷派の住職・門徒さん5名で行って来ました。祝島は約30年間、「原発建設」に反対をし続けている人たちが住んであります。そこには「1000年」間も漁業と農業を生業として、自然と共にある生活を営む「近い未来」を守って行くこととする人たちがたくさん居てはりました。今回の目的の一つは、「デモに参加。夕方6時半に所定の場所に集合。島の細い路地をデモります 『原発反対』『エイーエイーおー』 『きれいな海を守るおお〜』 『エイ、エイ、オー！』夜空にみんなの声が響いて行きます。『きれいなふるさとを守るおお〜』 『えい・えい・お〜』 約30年毎週月曜に行なわれていて 千回を超えているそうです。私たちも、「南無阿彌陀仏」の旗を持って参加させていただきました。そして、翌日は島です〜と原発反対に関わってはる女漁師「たみちゃん」の話が聞こえに。たみちゃんは、夫婦で漁師をしながら祝島で生活。そこで、上関原発の話が持ち上がり、原発建設に反対！〜に関わり始め、今では原発反対運動の中心的存在で、時には激しく、時には柔らかく、中国電力の人たちに、原発建設は必要ない！と訴えてはります。

本山が被災した方々に、お米を届けるのに、5*単位で集めています。ご寄付願える方は、お寺にお届け下さい。バス旅行20日に持って行きます。宜しく願います。

で、「祝島は女が強いんよお」「男と役割分担してるんよお」…と。映画「祝の島」

でも映っていました。工事を阻止するのに、相手の男性とのやりとりで、「手を握つたらけんよお〜」とか、「さわつたらけんよお〜」と、祝島の方言で緊張した場に、笑いを誘うようなことをやりはる、強かな女の人です。そんな「たみちゃん」は、自分はこの原発反対運動をやっているのは、「自分の中にやましいものは一つもないからだ」と。それは、「人をあやめたり、傷つけたりはしない、非暴力で、

やっているからだ」「正々堂々と原発反対を言っているのだと…そして、自分たちの生活の場を「れからの世代に送って行く。残して行くことが大事やと…」。島の

人たちの生活が、今の私たちが、経済・お金が大事だとしてたたくさんの「もの」を引き換えにして、失くしてしまったのは「何？」と、問いかけてきます。(明)

私は福島へ。8/6に広島原爆ドーム前で福島の佐藤さんに出遇(あ)って、又福島へ来て下さいと誘われてから、3ヶ月後やっと実現できた。一緒に行ってくれる人がいればこそその旅だった。親鸞聖人は如来回向にあう

ことを「もうあ(遇)う」といわれる。人との出会いは如来回向、出遇うべくして出遇うものがある。佐藤さんに出遇い、福島キッズに出遇い、廣野さんに出遇い、椎名さんに出遇って、福島の地とつながられた。

毎日、何をすべきなのかを探りながら、時々頭を抱えてしまう時、浮かんでくる人、人、人。命だけをとって、すべてを置いて避難してきた人たちに遇う。本山ではお朝事で横に座った方が福島第一原発3*の寺院の坊主さんだった。関東から避難したNさん、Yさん、Aさんにもであった。そしてこれまで出遇った先を行く人が、いてくれることが有り難い。

最近、放射線の空間線量のグラフを見て、1960年代の恐ろしく高い数値に驚いた。世界で核実験が頻繁に行なわれた時代に生まれ育った自分も低線量被曝を幼い頃にしていただけだと気が付いた。鼻血を幼い頃によく出していたし、その後の体調不良も症状として納得がいった。しかし、食養生で今まで元気に過ごしてきた。これから大切な知識を載せて行きたい。

市川町婦人会バザーから震災支援にたくさん品の物をいただきました。仙台仏青と、サンガ岩手に送らせていただいています。引き続き、日用品、季節にあつた服など、支援の品々ありましたらお寺にお寄せ下さい。(惟)いらなくなつた足踏み脱穀機を探しています。取りに行きます。(F)